

一般国道54号（可部バイパス）建設に伴う埋蔵文化財
トンガ坊城跡発掘調査通信

とんがぼ 第4号

（財）広島市文化財団
文化科学部文化財課

○山城跡の全面調査に入りました。

いつ秋が来るのかと待っていたら、30℃を超える日々から秋を飛び越え、いきなり寒い日々へと変わりました。遺跡から眺める可部の山並みも、急な季節の変化に紅葉が追いつかないまま、雪景色にかわりました。

トンガ坊城跡の発掘調査は、これまでのトレンチ調査で中世の山城や古墳・弥生時代のムラなどがあることがわかっています。現在は、まず山城の様子を明らかにするため、調査範囲全体の土を掘り下げ、山城の郭や^{くるわ}塹壕などを検出していっています。



横なぐりの吹雪の中での作業。寒さが痛い。

○こんなものが出ています

これまでの調査では、弥生土器や陶磁器など様々なものが出ています。その中から、今回は鉄斧をご紹介します。

・鉄斧（てっぷ／てつおの）
とんがぼ3号でふれました尾根先の古墳と考えられる場所に巡る溝と思われる中から出土しました。



出土した鉄斧（裏側）

柄の部分は木なので腐ってなくなって鉄の部分だけ残っています。

この斧は袋状鉄斧と呼ばれるもので柄を取り付ける部分が筒状になっています（右の写真）。

斧には、木を切り倒すための^{たておの}縦斧と、木を加工するための横斧（^{よこおの}ちょうな）があります。この斧はその形と、刃が片刃であることから、横斧と考えられます。（片刃は伐採などの木に打ち込む作業に使うと木にくい込むため、はづるなどの加工する作業に使われました。）



袋部分、ここに柄を差し込む

上から見た鉄斧



袋状鉄斧・横斧（復元品）



ソケットのように柄の部分を差し込みます。



☆見学にこられました

11月1日、三入中学校の皆さんが地元の歴史学習のため、見学にこられました。皆さん熱心に見学と質問をされました。

トンガ坊城跡発掘調査に関するお問合せ
財団法人広島市文化財団文化科学部文化財課
広島市東区光町二丁目15番36号
TEL082-568-6511
ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>
発掘調査現場直通 090-6433-6743

「新春放談 初夢ひろしまの城物語」
日時：平成18年1月7日
午前10時半～午後4時半
場所：中区アステールプラザ
広島県内の山城や広島城遺跡などの発掘調査の報告と、それをテーマにしたシンポジウムを行ないます。詳しくは左記までお問合せください。